

7/14 白鷹町自慢のミニトマトを学習！ 鮎貝小学校でトマト栽培見学

地元特産品のミニトマトについて学ぼうと、鮎貝小学校3年生の児童たちはこの日、東根地区でミニトマトを栽培している平井信幸さんのビニールハウスを訪れ、栽培の様子を見学しました。

甘くておいしいトマトを作るために水を与え過ぎないことや、効率よく受粉を行うためにハチの力を借りることなどを学び、トマト栽培の理解を深めました。最後は採りたてトマトをいただき、その甘さに満面の笑みを浮かべる児童たちでした。



赤く熟したミニトマトをみつけた児童たち

7/17 たくさんの紅花を摘んだよ！ 荒砥小学校で紅花摘み体験

荒砥小学校では平成11年から紅花栽培学習に取り組んでおり、種まきから間引き、花摘み、紅花染めといった一連の作業を体験します。この日は、紅花摘みを体験。ほとんどの児童が紅花摘みは初めてということで紅の花を咲かせる会の小林長次さんと今野正明さんから摘み方を丁寧に教わり、紅花のトゲに悪戦苦闘しながらも約1時間の作業で1.2キロの花を摘み取りました。摘み終わると、紅花摘みをした勲章である黄色く染まった指先を誇らしげに見せてくれました。



チクッとする痛みを耐えながら、頑張ってお花を摘み取りました

7/17 それぞれの目標に向けて。健闘を誓う 白鷹中学校3年生が壮行式を開催

新型コロナウイルス感染症の影響で今年度は地区中体連大会や吹奏楽コンクールが中止となりましたが、各競技において、代替試合などが計画され始めました。そこでこの日は、3年生のみを対象とした部活動壮行式を開催。保護者の方も見守る中、生徒ひとりひとりが決意表明を述べました。代替試合がある生徒はその試合に向けて、試合がない生徒も残りの部活で後輩をしっかりとサポートしていくことやこれからの夢に向かい頑張ることを誓いました。



決意表明を述べる女子バレーボール部の生徒たち

7/27 地域の特産品の関心を高めよう 町内小学校で天蚕飼育の見学

蚕桑小学校と鮎貝小学校の3年生の児童たちはこの日、深山地区で天蚕の見学を行いました。

この見学会は、子どもたちに地元の特産品を知ってもらいたいと、しらたか天蚕の会（須田信一会長）が毎年実施しているもので、子どもたちは丸々と太った大きい幼虫や鮮やかな緑色に染まった繭を見つけると興味深そうに観察していました。全国的にも数少ない天蚕の飼育という貴重な文化に触れ、学ぶ児童たちでした。



間近で天蚕を見学（ちよっぴり苦手という児童も…）

TOPICS

トピックス

&

まちのホットな話題
をお届けします！

スポーツ

SPORTS

7/7 町の伝統を子どもたちへ 白鷹中学校で紅花栽培学習

白鷹中学校1年生の生徒たちは、郷土愛を育むことを目的に紅花栽培の学習をしており、この日は花摘みと紅餅づくりを体験しました。小学校時代に花摘みを体験している生徒が多く、慣れた手つきで摘み取りました。雨も降り、暑い中での作業でしたが、もくもくと作業をすすめ、畑一面に広がっていた無数の紅花があっという間になくなりました。

紅餅づくりでは、はじめて体験するという生徒が多く、紅花の黄色い花びらが発酵してより鮮やかに赤く色変化していたことに驚いていました。1寸（約3センチ）ほどの団子を手のひらで作り、押しつぶす作業をみんなで行い、「とても楽しかった！」と満面の笑みで赤く染まった手のひらを見せてくれました。

この体験を通して、生徒たちからは「なかなか体験できないことを今回はできて良かった」と喜びの声が聞かれました。

また、7月9日には白鷹中学校2年生の生徒たちが、昨年紅花栽培の体験をさせていただいた生産者の方に感謝の気持ちを伝えたいと、ボランティアで花摘みを行いました。2年生の生徒たちにとって、摘み方はおてのもの。1年生の時よりもさらに早いスピードで摘み取り、約1時間でなんと28キロ超えの収穫。中学生の頑張りが今年も紅花生産量日本一に向け、大きな力となりました。

